

この一年間で、学力が倍以上に伸びたと思います。

Macで一年間勉強することがこれほど自分を成長させてくれるとは思っていませんでした。これは学力に限ったことではないと思います。東田先生の講義を通じて、臨床、一般の医学学力だけでなく、医師としての在り方が人間性といった部分まで成長させてくれたと思っています。

10/回の国試を必修の1点足らずで落とした自分としては今年一年間は必修をとにかく重点的に勉強したいという思いが湧きました。必修試験において「どれだけ人と同じように考え、答えを導き出すか」といふような知識だけではない部分も教えていただきました。

僕のように必修で落ちてしまった人はそういった意味でもMacをお勧めしたいと思います。

この一年間で、自分の医学知識の病態生理から土台を築いていただいた、東田先生、中山先生、講師陣をはじめ、Macのスタッフの方々に、心から感謝したいと思います。

個人的なお話ですが、夏のMac模試の次の日にMacの学生五人で富士山に登りに行ったのですが五人全員合格していたので、富士山山頂での合格祈願は効果絶大でした!!

我々医學生が成さなければならぬ事は、国家試験に合格する事なのだろうか。はたまた医学というものを学ぶ事にあるのだろうか。

各大学で合格率の才を競いあう昨今、MACIはその内容の細部にこだわり、医師として当然知らなければならぬ知識、そして心構えを常に意識した講義内容となっていた。

国家試験は結果論である。例え問題真が悪かろうか、難しかろうか。受かった人間が医療行為を行なう。それ以上でもそれ以下でもない。しかし医学はそんな単純なものではない。一年間MACIに通って真にそう思う事が多かった。現役では未通りしていた事がここではそれをより深く多面的にとびく様々な角度から考察する。一見無意味のように見える事が、積み重ねたり、最後の最後で、正解に導く道となる。嘘のように本業の話で、この真偽を確かめるには Dr 東田、Dr 中山、Dr K の講義を聞く以外に方法は無いと断言できる。

我々は国家試験に合格すると同時に医学を学ぶなければならぬ。

東京校

氏名 R. U.

出身大学 聖クリスチア医科大学

予備校を決めるにおいて、大切なポイントの1つとして環境があると思います。

この点でMACは、東田先生を始め充実した講師陣、また、  
例え私も最後まで計画されていても大変効果的だ、と感じました。  
勉強の上で、難しいことは、何をしたら良いかわからなくなる  
ことだと思います。この点においてもMACでは繰り返し多  
なポイントを講義してもらうので、授業と信じて勉強  
すれば自然に力はついていきます。

一年間、長く感じるかもしれませんが、より深く、しっかり  
した知識を身に付けるチャンスだと思います。前向きにがんばり  
下さる。

東京校 氏名 A. S.

出身大学 聖マリアンナ医科大学

無事合格できて今本当にうれしいです。

東田先生のもとで頑張ってきた一年だったからこそ。

今改めてみんなで合格の2文字を勝ち取る事ができたのだと思います。

東田先生をはじめとする お世話になった社長さんや MACのみんなに本当に感謝しています。

辛いこともあった一年でしたが、MACの仲間やみんなで頑張ってきた週一回のテストや 知らず知らずのうち 東田先生の教える通りに勉強していれば力がついていて、今みんなで合格できたことが本当にうれしいです。

東田先生を信じて頑張れば必ず合格できます!!

わたしは一年を通して 学びました。

病気の暗記だけでなく自分が 病態から病気を考えられるようになり、すべてに対する理解が深まりました。

ただの点と点だけだったのが 線結びでつながるようになって一年で見違えるほど 理解力が深まりました。合格できたのは

東田先生のもとで 学べたおかげ、MACのおかげだと思っています。

本当に一年間 ありがとうございました。

4月から研修医ですが、東田先生の教えることをもとに頑張っていくたいと思います。

MACで一年やってこれた 本当に良かったです。

今まで本当にありがとうございました!!

東京校

氏名 Y. J.

出身大学 川崎医科大学

今更に東京に出たことはいくらも最初東京校でやっていけるか  
不安でした。

しかしそんな不安もいつの間にかなくなりました。

何回もくり返しての東田先生の授業をうけてまうちに少しづつ自信に  
変わっていきました。

本当にMACに通ってよかったです。

ありがとうございました。

東京校

氏名 T. M.

出身大学 鹿児島大学

東田先生の予想があたつまく、このおかげで、本番はすごく余裕もって受けられました。

ビデオ生で一年間地味に頑張りましたが、本番で精神的に苦しまなく済んだ事を考えれば、大した苦労ではなか、たぞろ。

途中から友達も増えて、楽しいマツク生活でした。

東京校

氏名 Y.K.

出身大学 岩手医科大学

合格発表の15分後この文章を書いています。私はMACに来て人生が変わったと思っています。大学では休学や留年をし、もはや影のような人間でした。友達なんていないと思っていたし、今思えばとても屈折していたんだと思います。同級生とうちとけるなんてこともう自分にはないと思っていましたが、MACの人々はそんな私に何のリアもなく話しかけてくれました。気がつくやうに国試が終わった後も、仲間に出会いたくてMACに通ってました。

勉強の面では、私はただの一度もつらいと思ったことはありません。"分かる"勉強は楽しいんです!! 「つらい、大学時代の勉強は分からないからつらかったんだ!!」ということにMACの講義を聞けば誰もが気づくでしょう。東田先生 本当にありがとうございました。東田先生の講義は映画館で映画を見るおもしろかったです。そして、私のかけたレベルの質問はいつも丁寧に答えて下さって感謝しています。中山先生、Dr.K先生、わかりやすい解説ありがとうございました。事務のみなさま、いつも私が元気でいられるお"声かけ"をして下さっていたこと気づいてました。ありがとうございました。あの時MACを選んでいなかったら今の自分はありません。私は誰かに「出身大学はどこ?」と聞かれたら、~~前~~自信を持って「私はMAC卒業です!!」と答えます。

みなさま 本当にありがとうございました。

東京校

氏名 I.T

出身大学 香川大学

不合格がきまして地方から上京した私は、まず大手の医師国家試験対策予備校3社を見学しました。その中で私が最終的にこのMACにしようとしたのは、MACでは、まず夏までの期間をかけて、主に内科系の分野を基礎から総復習してくれると聞いたからでした。それは、教科ごとに解剖や生理学、病理に始まり病態生理、実際の臨床に達するまで一貫に東田先生が解説してくれるというものです。基礎力の不足を自覚していた自分には、ぴったりだと思いました。

私の出身大学での授業は、コマごとに、入り切り下り切りいろんな先生が来て授業を行うもので、先生によって説明の仕方が違っていき、全体を通した理解がしにくいように私には感じられました。その点MACでは、東田先生、中山先生、倉田先生が一年間ずっと授業してくれる、くり返し、何度も考え方を教えてくれるので、自然と全体的な、網羅的な考え方が身に付いたように思います。

東田先生の授業で、とくに素晴らしいと感じたのは、先生がまず全体像を説明してくれるから、常に今、その中でどの部分について話しているかわかりやすいから授業を進めてくれたことです。おかげで、今、あのことについて話しているのだなと、常に自分の知識と照らし合わせながら理解してゆくことができました。

また中山先生、倉田先生が演習問題の解説をしてくれて、東田先生の授業とは、違った視点からの考え方も身に付けることができました。越野先生の授業では、最前線の臨床に必要とされる産婦人科医の貴重な授業を受けることができました。

MACでは、講師の先生方をはじめ、毎日接するスタッフの方々に本当にお世話になりました。おかげで後悔することのない有意義な一年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

合格体験記です。遅くなってすいませんm(\_)\_m

去年の国試は一般、臨床とも五割台でボロ負けでした。医学部の六年間をその場しのぎだけで勉強していて、知識は素人同然だったように思います。新規一転MACで一から勉強しました。元々暗記が嫌いな僕は過去問中心の勉強がとても苦手でした。やっても集中が持ちませんでした。MACの病態生理中心の勉強はすごく自分に合っていたように思います。国試の勉強を楽しみながらできました。その知識をもとにした友人達との討論もとても楽しくて有意義なものでした。直前も過去問はやらず東田先生のテキストをしっかりと頭に入れることに力を注ぎました。本番は自信を持ってのぞめ、八割後半も取れました。手強い問題が多かったけど、しっかり戦えたと思います。この一年間はこれから医者になる上で本当にかげがえのないものとなりました。MACでできた友人達も本当にかげがえのない存在です。東田先生を始めMACに関わった全ての人に感謝したいです。本当にありがとうございました。

東京校

氏名 A. H.

出身大学 筑波大学

今年無事合格できました。1年あれば余裕で合格できると思っ  
てしまいがちで~~はず~~が、

私は予備校に通って正解でした。

今年一年勉強漬けの日々を1人で乗り越えられなかったと思っ  
ています。

精神的に参ってしまった時、事務の方や、Dr 東田先生、友人に  
助けてもらうことが多くなりました。

何より、MAC 東田先生の授業をしっかりと学んでい  
れば、まず、合格できます。他の予備校も迷いま  
したか、(最初は) 質が違います。考え方もなりました。  
これから頑張って石井修に励みたいと思っ  
ています。お世話になった方々、どうも有難うございました。

東京校

氏名 M. M.

出身大学 東京医大

国家試験は現在選択問題です。偶々の正解、偶然知っていた知識で解ける場合も、病態が完璧にわかっている場合も同じ点数がつけられるわけでは、ありません。MACにくるまでの自分は全ての問題に対して納得がいくまで考えるということをしてこれをおこなったと思います。臨床問題では問題毎のストーリーを、一般問題では問題の本質の意図を考えるように、日頃から東田先生の講義を聞いていくうちに自然とそうなりました。そうなると一番大きな変化は、自分の解答に対する自信と責任を持つようになってくることです。自分はこう考えたからこういう答えを導いた、となつて仮に間違えていたとしても、必ず発見がある知識の身につけ方もより一層し、かかりしたものになっていくのです。またこうした身につけた知識はただ試験に合格するためのものではなく、医師として現場にたった時そのま生かせるものとして蓄積されていくと思います。

私達医学生にとり国家試験は終着点ではなくスタートです。目標を試験合格となく、医師として自分自らどう判断していくかに設定することで必ずと結果はついてきます。これはそのままMACの教育方針であると思います。そう考え一年過ごしてきたことはこれからの医師として過ごしていく未来への自信になりました。本当に一年間ありがとうございました。

東京校

氏名 M. K.

出身大学 杏林大学

授業の良さは他の人が「書いていると思うので」

他に思いつく「MACに早く良かった」と思うことを書きます。

《立地》1階にコンビニ、郵便局があり、マックの時代と非常に便利でした。新宿の繁華街とは反対側におちついて勉強できました。

《時間》MACは夜9時にカギが閉まってしまったため、

はじめは不安もありましたが、逆に規則的な生活ができて良いと思います。(なかなか思い通りにはいかないものですが...)

《雰囲気》とにかく、アットホームな雰囲気があります！

スタッフの方が自分の名前と顔を覚えて下さったことに感謝しました。学生同士でも、適度な緊張感と連帯感が生まれ、勉強のいいリードが出てきます。

※勉強するかどうかは別です。本人次第です！

最後に、自分と東田先生を信じて、国試最終日まで

突き進むことが大事だと思います！

東京校

氏名

K. J.

出身大学

千葉大学

既卒生の大半が厳しい結果に直面する状況で、こうして嬉しい報告  
をできるのは両親とMACの皆様のおかげです。どうもありがとうございます。  
この文章は昨年の私のように苦しい状況にいる方たちへのメッセージだと思うので、  
少しでも今後の指針を決める一助になれば幸いです。

MACでの東田先生の講義等については他の人も書いているとは思っているので、詳  
しくは言及しませんが、しっかりと消化すれば実力をつけるのに最善の方法です  
から、苦しくても頑張ってお出席してください。僕は授業の後にビデオを見直  
すようにしていました。聞き逃したことや誤解したことも意外に多く、今からふ  
り返るとビデオを見たことが一番の実力upの要因だったと思います。びりり  
かきこまれたテキストはその後役に立ち、今では大事な宝物です。

MACでの生活になれてきたら、テキストやファイナルチェックを使った勉強会を  
するのがよいと思います。僕は水火ぐらいからやっていましたが、どのようにやっていくと  
よいか分からないと思うので、早目にはじめてペースをつかむべきだと思います。

MACのスタッフの皆さんには色々な話をさせていただき、助けられました。  
過去の授業のテキストを用意していただいたり、マッチングの準備を手伝っていただ  
いたりしていただきました。困ったことがあったらなんでも相談するのがよいと思います。  
国家試験の当日もお弁当を用意していただいたり、東田先生の解説を即興でして  
いただいたりしてリラックスして頑張ることができました。実力を十分発揮するのは難  
しいですが、できるだけことはなされたと思います。

ようやく、まわりの方々に心から「ありがとう」と云える  
春をむかえることができました。これもひとえに、  
この1年間をMACで過ごしたおかげ、と素直に  
思います。

というも、私は、MACに入るまでの<sup>二年</sup>間、~~■~~予備校  
は金銭的にムリ、とあきらめ、フリーターとして働き  
つつ、自宅で勉強し、そして落ちる、という悪循環  
を繰り返していたからです。MACに通うと決め  
た時は「これで落ちたら借金も返さなければなら  
ないから、もう後はない」と、そんな気持ちで一杯  
だったことを今も思い出します。

生来のぬるい性格もあり、当初の気概とは  
うらはらに、MACでの日々もカ×ハ×ハ大王調に、  
皆勤賞とはいかず、確認テストの成績も振るわず、  
倉田先生からは「君、やばいよー！」と云われる毎日でした。

国試前日も、~~■~~MACで出来た友人に「〇〇の解答  
がない——!!」とX-1して、解答を教えてもらったり。  
けれど、どうにかこうにか合格できたのは、そんな  
友人達や、補講まで行って下さったスタッフの方々の  
御厚意。

東京校

氏名

M. A.

(ウヅキ)

出身大学

そして何より、東田先生、中山先生、倉田先生の溢れる<sup>人</sup>ニヤワーのような講義のあかが知識の

た<sup>い</sup>と思います。

先生方の講義中も、投げかけられる問いに「脊髄反射でヨ！」とか「野性の基かです」とか…とんでもない返答をしつつも、

どこかわからないか、何が苦手か、を自ら学ぶ<sup>い</sup>ことができ、それらが全て、この結果につながり、~~た~~たのだ<sup>い</sup>と思います。

MACで支えて下さったスタッフの方々、

励ましあった友人達、

誰よりいい酒を飲まなかったであらう両親  
そして、素晴らしい講義と授業後の質問にも  
快く応えて下さった、東田先生、中山先生、  
倉田先生。

全ての方々に、ようやく心から「ありがとうござい  
ました」と云える今この瞬間が本当に  
幸せです。ありがとうございました。

MAC様、

H. O. 日本大学

国試無事合格致しました。思えば、昨年のらふと今頃は、たった一問に泣いたことが思い出されます。一問とは言え、次年にそれ以上得点できる保証はありません。毎日不安で押し潰され行くに陥っていました。

しかし、そんな気持ちもすぐに消えてなくなりました。

面接での Dr 東田の励ましと温かいお言葉、更に週一あるテストでの仲間との競走、毎回競っていました。彼等とは、今後も付き合い続けるでしょう。さて、私事は、これくらいにして、一年振り返って、私かした事を書きます。

まず授業ですが、Dr 東田の早さに驚かされます。か、心配はいいません。

国試直前まで、何度もくり返し、同じ事を繰り返すので、自然に頭に入ります。

歌詞を覚えるのに、いちいち一フレーズずつする人はいいでしょう。

つまり、速習の真髄がそこにはあるのです。

私はこの一年、Dr 東田の授業と週一テストしかやっていないように思っています。

しかし、Dr 東田のテキストと週一テストは国試前には、どこを聞かれても答えられるように何十回とくり返しました。

結果は、850点強を叩きましたので。

旅行も行きましたし、年末も泊まりで初詣も行きました。

要は、MACをどこまであなたか信じられるかです。

MACの友は一生の友になります。絶対にフクって、共に仲かいていきましょう。

今はうらいかもしれません。でも受かってしまえば笑い話になります。

桜咲かせましょう。

今はっまり言えます。MACを信じて良かったと。

本業にお世話になりました。

現役の頃は卒業試験におかれ、国試対策にさける時間が限られ丸暗記おろけの勉強に存てしまいました。結果的に一般や臨床では充分な得点でしたが、必修で一点足りず落ちてしまいました。そのショックで"MACが始まるまでやる気がおきず勉強しないでいたら、暗記にたよった知識だったため、すかり無知になった状態でスタートしました。しかし、東田先生の講義を一年間受けたことで病態から自然にやるべき検査、治療などが簡単に考えられる様になりました。私は医学に対する本物の知識が身に付いていると感じ、自信を持って研修にのぞめていきます。

また、国試本番でも、東田先生の話した内容そのままの設問に何度も出くわし、簡単な試験に感じるくらいでした。

一人では乗り越えられなかつたかもしれない壁を、MACに通った事で、先生方や仲間達と一緒に乗り越える事ができ、大変感謝しています。本当にありがとうございました。

これからの6年生や浪人生にもMACに通い同じ体験をしてほしいと思います。

東京校

氏名 M. T.

出身大学 埼玉医大

自分が浪人の1年間心がけたのは可能な限り授業に  
でること、毎日勉強をするためにMACにくることでした。  
自分は家では勉強できない人間であったため心を鬼にして  
MACに来ました。MACに来れば他の人が勉強している  
ので自分もやらなければならないと影響を受け、勉強  
を毎日できることができました。

また自分でよかったと思。たのはまわりの人達が勉強  
に対する意欲が強く常に勉強や授業内容の話が  
でき、何げない会話でも自分の知らないことや忘れて  
いたことなどが再発見できました。最後に1年間は  
長く、モチベーションを保ち続けることが大変なので  
息ぬきやす時と勉強する時ははっきりして行くことが  
大事であると思います。長い期間なので最初から  
勉強1本ではいつかはペースがおちて最後まで  
続かないと思います。

R.T. です。

合格体験記書きました。

私は、大学でいくつかの予備校を経験しました。国家試験に落ち、自分の勉強を見直すためにも最終的に選んだのはMAC予備校でした。

MACを考えるきっかけとなったのは、MACで合格された先輩の話聞いたからですが、私も同じ立場になり強勧めたいと思っています。

特に東田先生の講義は国家試験のための勉強方法ではなく、医師となってからも必要な思考力を養うことが出来ました。

また、多くの教科を一年で四通り繰り返すので、忘れやすい頃に良い復習になります。

余計なことをせず、ただMACのテキストをきっちり復習することで驚くほど成績が伸びました。

毎日予備校に通うことに精神的辛さを感じることもありましたが、MACの事務の方々が毎日声をかけてくれるのでとても支えられました。

国家試験の合格は自分の努力や両親の応援だけではなく、先生方や事務の方々の温かい支援があって得られたものだと思います。

私はMAC予備校を選んで本当に良かったです。

ありがとうございました。

国家試験に受かりたいと願ったら、MACに行ってみてください。

結論から言うとMACを選んでよかったです。私がMACを選んだ決め手は東田先生の動画解説でした、東田先生の授業は速いだけどもわかりやすい、しかも生き生きしています、これならついていけると思いました。

今回こそ合格したいと心に決めました、入学したからにはやはり学校の先生を信じてついていこうと決めました。ですから私は出来るだけ授業に出席、毎週の100問テストも全部受けました、たとえ成績良くななくても、東田先生の話信じて、努力を続けました。後半は先生の話通りに成績は伸びました、偏差値も上がりました、それと共に自信もついてきました。MACで感じたことはとにかく先生たちの一生懸命の情熱、国試や医療現場関係のフレッシュなニュースをいち早く教えてくれました。国試の出題形式が変わるに応じて、東田先生は鋭く分析した上、早々特殊選択肢講座を行ってくれました、実際今回の国試にはほとんどの中しました、重要なのは国試現場には気持ち的にはすごく落ち着いて対応できた、本当に助かりました。

本科生の皆さんが一番好きな授業はやはり東田先生の授業です、東田先生の授業に関してはきっとほかの学生はいっぱい語ってくれたと思いますが、私が感動したのはやはり先生の優しさ、長い授業できっと疲れるでしょうと思いますが、でも先生は長い次々の質問に対して丁寧に笑顔で答えてくれました。また学生に覚えてもらえるように、重要なポイントを何回も何回も雰囲気をつけて繰り返してくれました、本当に試験本番では先生の声が聞こえるように答えが出てきました、去年の先輩たちの経験談にはそういうふうにかかれていたが、正直に言って読んだ当時では信じてなかった、でも今は本当に先生へも感謝の気持ちでいっぱいです。

中山先生の授業も丁寧で、根本からの病理生態を教えてくださいました。先生の最後の直前講座はとても良かった、横で切って病気をまとめる、しかも授業中何回も試験本番のコツを言ってくれました、皆が取れるような点数を取ろうよね、難しいことに時間を無駄にするな！試験本番でこれを心かけました。

倉田先生からはいっぱい病理を教わられました、本当に良かった。今回の国試で出た病理の写真を見て、すぐ先生の教えが聞こえてくるように、核分裂しているじゃないですか、N/Cが大きい、極性が乱れている、核の色が濃い、悪性ですよ、というふうに正答にたどりつけた。

先生たちから教えてくれたのはただ国試対策だけではなく、やはり臨床で活用できる知識もいっぱいありました。特に東田先生は将来医師になる我らに医師として必要な思考力、人間性、道徳性、社会性など幅広く教えてくださいました、我らにとって本当に大事な必要なことでもありました。

私は皆とちょっと違って、日本語は母国語ではなくて、しかも小2の子供もいる、家庭もち、勉強できる時間は限られています。最初はすごく不安でした、でも日本で医師になりたいければやるしかない。ですから、私はやったのがMACのものだけでした、余計な問題集や他校の模擬試験は一切やりませんでした、信じるものはたった一つだけで十分。本当に本当にMACの授業は最高でした。

いま私はこんなに幸せにいられるのが実にMACの先生たちとスタッフの皆さんのおかげです、本当にありがとうございます。お世話になりました。

「ああ、やっぱり…」

これが、去年の合格発表の時の正直な感想でした。しかし、いま発表の日を迎えるに当たって、それすらも今後医師として歩んで行く上で必要なプロセスだったのではないかと考えるぐらい、この1年は充実したものでした。

思い起こせば、6年間ろくに勉強していなかった僕は、病態というものが全くと言っていいほどわかっていませんでした。そのため過去問を解いてもちんぷんかんぷんで、結局は正解の選択肢のみを覚えるという、なんの役にも立たないものでした。

そんな僕にとって、不合格の通知を手にこれからどうするかと言うときに拝見した MAC のガイダンスでの東田先生の解説はまさに「衝撃」の一言でした。覚えるのではなく理解する、まさに自分に必要なものだと思います。すぐさま MAC に申し込むことにしました。

実際、講座が始まってからは、自分が思っていた以上に病態をわかりやすく解説していただき、メジャー科目のみならず、マイナー、小児、産婦などあらゆる分野において頭の中で考えが整理できました。それにより、細かい知識を詰め込むのではなく、病態からいろいろな知識を導き出すことができるようになりました。演習問題も厳選されていて、無駄に数をこなすのではなく必要なものを最小限で最大限の効果が得られるように工夫されており、とても助かりました。また、MAC 模試は解説がわかりやすく、病態の考え方がしっかり学べてとても役立ちました。

この1年間で学んだことは臨床研修の1年で得られるものと同様か、それ以上ではなかったかと思えます。それもこれも東田先生をはじめとした先生方、ならびに事務の方々のおかげだと思えます。1年間本当にありがとうございました。

MAC の皆様へ

1年間、本当にありがとうございました。

これから先、MAC で学んだことを生かし、医師として頑張っていきたいと思えます。

本当にお世話になりました。

東京校

氏名

S. Y.

出身大学

東京医大

どこの予備校でも、甘ボらず授業を受ければ”  
ほぼ合格する”と思う。ただ MAC, 東田先生は  
国試だけでなく、合格後、臨床の現場でも  
使える知識で教えて下さるので非常に役に立つ。  
このように書くと非常に高度な、難しい授業をする  
のでは? と思われずかかも知れないが”そんなこと  
はない。基本的な考え方(病態生理)で説明  
して下さるので”今まで”暗記”で済ませていた事  
が論理的にわかり、一生ものになる。

国試が終わり志保でしろう勉強より、基本から  
理解し、臨床の場でも使える知識を得たい  
と思うなら MAC に通う事を薦めます。

最後に、東田先生の授業はほとんど”進捗  
する”ので 90分授業という気持ちでのどか  
途中で”だめ”してしまうので、初めから 120分  
授業だ”という気持ちでのどか”んで”いった方が  
よいか”と思えます。

東京校

氏名 \_\_\_\_\_

出身大学

ないしょ♡

無事国試に合格して言えること...

去年の私の成績はさんざんなものでした。元々不真面目な私... 予備校にでも行って勉強しないとは絶対ダメと思い送ったのがMACでした。案の定予備校へ行っても不真面目でした...

けれど東田先生の授業だけは90%は行きました。それで充分です。後はMACの友達と最後の2ヶ月は毎日午前勉強会!! (←パスを作るのにこれはけっこう重要です) この2つのおかげで無事なんとか合格できました。

本当に東田先生や他の先生、事務の方々、MACでの友達... 感謝感激雨霰です。

東京校

氏名

S. T.

出身大学

東邦

1年間、本当にありがとうございました。この1年で東田イズムを受け継げた事が勝利の原因だと思います。特に臨床が伸びた事、得意になった事は、東田先生のおかげだと思います。去年、臨床落ちをしたぼくにとってとても大きな事です。東田先生に、何度お礼を言っても足りないくらいです。MACで知り合えた友達にも感謝したいです。正月も新宿に集まって勉強につきあってくれたこと、2月にも、7月も仲間と勉強できた事は、僕の一生の財産です。

MACのスタッフのみなさんにもこの場を借りてお礼を述べたいと思います。

みなさん、本当にありがとうございました。



信じて頭張るべし!

-23- いいことありました。